



白井西中だより

〒285-0866 佐倉市白井台 1588 番地
TEL 043-462-1781 FAX 043-462-4897

令和4年12月1日



周りと自分を大事にする

校長 堀 行伸

国際連合が、1948年に世界人権宣言を採択し、初めて人権保障の国際的な目標・基準が示されました。日本では人権デーである12月10日を最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、毎年、人権尊重の啓発活動を行っています。しかし、未だに「いじめ」や「虐待」、「外国人」や「各種ハラスメント」、「インターネット上の人権侵害」、「感染症や障害等を理由とする偏見や差別」、「ハンセン病問題」など残念ながら様々な人権問題が今も存在しています。中学校においても、人間関係での諸問題が起こります。友達と仲良くなることもあれば、ケンカすることもあります。友達付き合いが上手いかず悩むこともあります。また、相手の気持ちが考えられず、悪口や無視、つい手足が出てしまい、いじめやトラブルに発展してしまうこともあります。SNS上で言葉の行き違いや不適切な写真や個人情報の掲載等でのトラブルもあります。

本校の学校教育目標の一つに「周りと自分を大事にする生徒」があります。「一人一人がかけがいのない存在であること」、「お互いに尊重し認め合うこと」、「お互いにつながり、支え合うこと」を目指しています。この目標に向けて道徳科では、一人一人の生徒が自分自身の問題としてとらえ、自分と違う立場や考え方を理解しながら考えを深めることを通して、豊かな心を育めるよう授業に臨んでいます。また合唱祭や校外学習等の集団的行事では、仲間と協働し、集団活動の課題を解決しながら、よりよい人間関係をつくりあげることを目指し活動に取り組んでいます。1年生では11月に福祉ボランティア学習として、佐倉市社会福祉協議会、ボランティアセンターにご協力いただき、「障がいのある方」や「障がいのある方を支えている方」「バリアフリー」「認知症」の学習を実施しました。ご協力いただいた方々から、直接お話を聞いたり体験をすることによって、ボランティア活動についての理解を深めるとともに、人権意識を高めることができました。そして、12月の人権週間があるこの時期には、各学級で一人一人が「自分のよさ」や「周りの人のよさ」に気づき、それを認め合える授業を実施します。今後も西中生徒全員が毎日、「周りも自分も大事にする」ことが実践できるよう職員一同努力していきます。人権週間を機に地域やご家庭でも人権に関わることを話題にいただけると、より生徒の人権意識の高まりが期待されます。ご理解とご協力よろしくお願いいたします。

冬休みの学校空直期間中の緊急連絡先のお知らせ

〇12月28日(水)・1月4日(水)

受付時間 9:00~17:00

→ 佐倉市教育委員会学務課 484-6219

※受付時間外で緊急性を要するものについての連絡先

→ 佐倉市役所代表電話 484-1111

連絡の際は

- ①学校名
 - ②学年
 - ③お子様の名前
 - ④連絡先電話番号
- を必ずお伝えください。

【12月の予定】

1日(木)	3年三者面談 ノー部活デー	19日(月)	邦楽鑑賞教室
2日(金)	3年三者面談	20日(火)	給食最終日 大掃除・ワックスがけ
6日(火)	1年ボランティア学習発表会	21日(水)	短縮3時間 ノー部活デー
8日(木)	1年歯科管理検診 ノー部活デー 人権集会代替授業	22日(木)	短縮3時間 部活動再登校
9日(金)	3年佐倉市学力状況調査	23日(金)	全校集会(冬休み前) ノー部活デー
13日(火)	2年職業学習発表会	26日(月)	冬季休業 ～1月9日(月)
14日(水)	1・2年授業参観 1・2年学年保護者会 ノー部活デー	1月10日(火)	全校集会(冬休み明け)
15日(木)	3年一斉面接練習 ノー部活デー		



12月14日(水) 1・2年授業参観・学年保護者会

先日、お知らせしましたとおり、授業参観と学年保護者会を実施いたします。授業参観につきましては、各クラス担任の授業となります。実施教科は以下のとおりです。なお、感染状況によっては、内容を変更させていただく場合がございますことをご了承ください。

<受付> 13:20～(昇降口) 事前チェックシートを提出してください。

<授業参観> 13:35～14:25 (各クラス教室・音楽室)

<学年保護者会> 14:40～15:20 (1年生:多目的室、2年生:体育館)

	1年1組	1年2組	1年3組	2年1組	2年2組	2年3組
授業教科	社会	国語	学活	学活	音楽	英語
実施場所	1-1教室	1-2教室	1-3教室	2-1教室	音楽室	2-3教室

令和4年度全国学力・学習状況調査を終えて

令和4年4月19日に実施された全国学力・学習状況調査において、本校では次のような傾向が見られました。さらに分析を進め、今後の授業改善に生かしてまいります。

【国語】

国語の調査においては、言葉の特徴や使い方についての理解ができているという結果でした。これは、基礎・基本の習得に重点をおいて指導していることが効果を発揮しているものと考えられます。一方で、場面と描写とを結びつけて内容を理解する読解力がやや弱く、記述に抵抗感をもつ生徒が多い傾向が見られました。向上を図るために、創作活動の時間を設けたり文章を書く場面を取り入れたりする授業に取り組んでいきます。

【数学】

数学の調査においては、授業の導入を工夫したり、基礎の定着を図る取り組みが一定の成果を上げています。一方で、基礎の定着が応用につながっていない面があり、考え方を説明するような記述の問題が苦手な傾向にあります。思考・判断・表現する力を身につけさせるため、問いを具体的な事象に結びつけて指導し、理由を説明させる時間をしっかり設ける授業に取り組んでいきます。

【理科】

理科の調査においては、基礎的な力が少しずつ身につけてきています。これは、導入の工夫や実験・観察の結果を共有する場面を設けていることが効果を発揮しているものと考えられます。一方で、記述式の問題など自分の言葉で説明する力が不足している傾向にあります。改善を図るために、仮説や予想をしっかりと立ててから実験や観察を行い、結果から考察する過程を大切にする授業に取り組んでいきます。